

2023年10月5日

ドッグ・ダンス・ヨーロピアン・オープン・チャンピオンシップ規程

2023年9月27日にFCI執行委員会によって新たなドッグ・ダンス・ヨーロピアン・チャンピオンシップ規程が承認されました。

FCI会員及び契約パートナーの皆様には特に以下の点にご留意頂きますようFCI事務局よりお願い致します。

- CACID (Certificat d'Aptitude au Championnat International de Dog Dancing)及びRCACID (リザーブ)は、(血統書の有無にかかわらず) 全ての犬に対し開かれているこの競技会の枠組み内では付与されません。
- FCIロゴについては「FCI後援」という文言の真下に使用することは可能です。

なお、この新規程は2024年1月1日から有効となり、私共のウェブサイト上でもご覧頂けます。

FCI事務局長

イブ・デ・クラーク

ドッグ・ダンス ヨーロピアン・オープン
チャンピオンシップ規程

(2024年1月施行版)

ドッグ・ダンス・ヨーロピアン・オープン・チャンピオンシップは FCI に正式に後援されている国際ドッグ・ダンス・チャンピオンシップである。当該チャンピオンシップは常にヨーロッパ諸国の FCI 国内統括団体が主催するが、ヨーロッパ諸国外からの参加者もエントリーすることができる。当該チャンピオンシップは FCI 国際ドッグ・ダンス・チャンピオンシップ規程及び関連規程並びにガイドラインを適用して開催されるが、例外として当競技会は血統書の有無にかかわらず全ての犬に対し開かれている。全ての国内統括団体または FCI 協力パートナー(AKC、英国 KC 及び CKC)はこのイベントに参加するよう招かれている。国内統括団体がチームを派遣しない場合は、独立したナショナル・チームまたは個人参加者が各々の国内統括団体の承認を得てイベントに登録し、参加することが可能である。

全ての出場者は自身が代表する国の国民であるか、主な国主地をその国に持たなければならない。参加する全ての犬は関係国内統括団体または FCI 協力パートナーが発行した記録手帳もしくはライセンスを提示しなければならない

前回のチャンピオンシップの個人ヨーロピアン・オープン(EO)・ウイナー(ヒールワーク・トウ・ミュージック(HTM)、フリースタイル(FS)及びバイアスロン)は各々の国に割り当てられた数に影響を与えることなく自動的に出場資格を得る。各々の国内統括団体が自国のナショナル・チームの割り当て分の追加参加者としてそれらの出場者を容認する場合は、彼らの結果は競技会のチーム結果には加算されない。

➤ ヨーロピアン・オープン・チャンピオンシップ(EOC)の構成

ヨーロピアン・オープン・チャンピオンシップの目的は様々な国々のスポーツマンを集め、ドッグ・ダンスの多様性を称えることである。EOC の一環として行われる競技会は下記の通りである。

- ・ ヒールワーク・トウ・ミュージック競技会(1)
- ・ フリースタイル競技会(1)
- ・ チームワーク・トウ・ミュージック競技会(1)
- ・ HTM 競技会及びFS 競技会の両方に参加する犬&ハンドラー1 チームが獲得した合計得点に基づくバイアスロン競技会(1)
- ・ ナショナル・チーム競技会(1)
- ・ 14 歳から 17 歳までの年齢で、犬及びハンドラーのいずれも EOC の他のカテゴリーに参加していないハンドラーを対象としたジュニア・ハンドラー競技会(1)

▶ 各国の EOC チーム

EOC に於ける国内統括団体のフル・ナショナル・チームは、犬&ハンドラー5～7 チームに加え、チームワーク・トウ・ミュージック 1 チーム(これには最低 2 頭の犬及びハンドラー1 名が含まれるが、複数の犬と複数名のハンドラーを含めることも可能である)で構成される。

犬&ハンドラー5～7 チームは3つの異なるカテゴリーに参加するチームで構成される。なお、国内統括団体によるルーティンの数は最大 8 である。

- ・ バイアスロンを行う犬&ハンドラー1～3 チーム、即ち、フリースタイル及びヒールワーク・トウ・ミュージックの両方で競技するチーム。
- ・ HTM のみを行う犬&ハンドラー1～3 チーム。
- ・ FS のみを行う犬&ハンドラー1～3 チーム。

例として、国内統括団体がバイアスロンを行う犬&ハンドラー3 チームを有する場合、追加で HTM 1 チーム及び FS 1 チームをエントリーすることができる。一方、バイアスロンを行う犬&ハンドラー2 チームを有する場合は、HTM2 チーム及び FS 2 チームを追加することができる。また、バイアスロンを行う犬&ハンドラー1 チームのみを有する場合は、HTM3 チーム及び FS 3 チームを追加することができる。なお、バイアスロンにチームをエントリーしない場合でも、国内統括団体は(最大数である) HTM3 チーム及び FS 3 チームのみをエントリーすることが認められる。

チームワーク・トウ・ミュージック・カテゴリーに各国内統括団体は 1 パフォーマンスのみエントリーすることが認められる。

各国内統括団体はジュニア・カテゴリーに 2 つのルーティンをエントリーすることが認められており、エントリーする際に各チームが HTM と FS のどちらをパフォーマンスするかを告知しなければならない。犬&ハンドラー1 チームが各課目でルーティンをパフォーマンスする場合は、HTM と FS の両方にエントリーすることができる。

国内統括団体はチームが不完全でもナショナル・チーム競技会に参加することが可能である。

各国内統括団体は HTM 1、FS 1、バイアスロン 1、ジュニア 1、及びチームワーク・トウ・ミュージック・リザーブ 1 を指名することが可能である。HTM、FS 及びバイアスロンに於けるリザーブはエントリーが設定され次第確定し、その他のリザーブはエントリー

することができない。一方、チームワーク・トウ・ミュージックのチームについてはそれよりも幾分柔軟である。犬&ハンドラー・チームの内 1 チームが競技会当日に出場できない場合でも、少なくとも 2 頭の犬がパフォーマンスしている限り、国内統括団体は不完全なチームで競技するか否かを決定することができる。また、不在の犬/ハンドラーの代理を立てる、出場を止める、またはリザーブ・チームがいる場合はその全体を用いることも可能である。ジュニア・カテゴリーに於いては、事前にリザーブを指名しなくても良く、必要に応じて代表者を変更することができる(リザーブを指名していたが急遽渡航することができなくなった場合は、例として他の代表者をジュニア・カテゴリーにエントリーすることが可能である)。

➤ EOC のファイナル及び結果

EOC のファイナルは最終日に行われる。HTM に於ける犬&ハンドラー上位 10 チームが HTM ファイナルで競技し、FS に於ける犬&ハンドラー上位 10 チームが FS ファイナルで競技する。また、それらに加え、50%またはバイアスロン・チームで最も得点が高かった上位 10 チーム(チーム数がどちらか少ない方)がハンドラーの選択により FS または HTM のいずれかのファイナルに参加する。その選択は最終日の前に下され、公示される。

犬&ハンドラー・チームが HTM または FS のファイナル、及びバイアスロンのファイナルへの出場資格を得た場合は、同じパフォーマンスが両結果の得点にカウントされる(予選と同様)。犬&ハンドラー・チームが FS 及び HTM の両方のファイナル、並びにバイアスロンで競技する場合は、彼らはどの結果をバイアスロンの得点にカウントするかを事前に選択しなければならない。

HTM 及び FS のウィナーは予選及びファイナルの得点の合計点に基づき発表される。それらに加え、バイアスロンのウィナーは犬&ハンドラー・チームが HTM 及び FS の予選で獲得した得点、並びに各チームが選択したファイナルで獲得した得点の合計点に基づき発表される。チームワーク・トウ・ミュージックまたはジュニア・クラスではファイナルはないため、ウィナーは 1 つの競技に基づき発表される。

EOC に参加する各国内統括団体のナショナル・チームの結果は、国内統括団体の HTM 予選の得点上位 3 つ、FS 予選の得点上位 3 つ及び他の 3 つの結果(HTM、FS またはチームワーク・トウ・ミュージック)の内 1 つに基づき決定する。

▶ チームワーク・トウ・ミュージックに関する規程及び特記事項

EOC は FCI ドッグ・ダンス・チャンピオンシップ規程に従って審査される。唯一の例外は、ルーティンを HTM 要素のみ、FS 要素のみ、またはその両方のあらゆる割合の組み合わせで構成することができるチームワーク・トウ・ミュージックである(チームワーク・トウ・ミュージックに於いては、カテゴリーの内1つから認められる動きが 25%に制限されない)。

チームワーク・トウ・ミュージックに於けるパフォーマンスは、少なくとも 2 頭の犬とハンドラー1名、もしくは複数の犬と複数のハンドラーで行われる。審査員はルーティン中の全ての犬のバランスの取れた参加を考慮する。それ以外の点では、チームワーク・トウ・ミュージックは 4 つのそれぞれのカテゴリーに於ける HTM 及び FS と同じ基準に従って審査される。

チームワーク・トウ・ミュージックは犬が 1 日で 2 度以上競技する恐れがない日に予定すべきである。

▶ ジュニア競技会に関する規程及び特記事項

14 歳から 17 歳までのジュニア・ハンドラーのためのジュニア競技会も開催される。ジュニアの結果は国内統括団体の結果には含まれないが、イベントの授与式ではジュニアの授与式も含まれていなければならない。ジュニア競技会はドッグ・ダンス・チャンピオンシップ規程に従って審査される。ジュニア競技会は HTM 及び FS ファイナルの間に行うことが推奨される。チーム・リーダーは未成年者に特に注意を払い、彼らが自身の年齢に相応しくないイベントの一部に含まれていないかを確実にする責任を担う。

当該規程 2023 年 9 月 27 日に FC 執行委員会によって承認され、2024 年 1 月 1 日から有効となる。